

# 原発からすみやかに撤退し 自然エネルギーへの転換を！

日本共産党港区議団

## 東日本大震災を教訓に区民の命と財産を守るために奮闘

2011年第3回定例区議会

9月15日から第3回定例議会が始まりました。3月11日東日本大震災と福島第一原発事故以来、区民の健康、命と財産を守る区政の役割がいっそう重要になる中、熊田ちづ子議員と大滝実議員が区民の切実な要望を本会議で質問しました。



### 【質問】

東日本大震災から教訓を学び、予想される都心での大震災から区民のいのちと財産を守る対策が急がれている。

① 早急に防災計画の抜本的な見直しを行うこと。その際、震度7に対応した計画とすることは当然のこと。首都直下型地震だけでなく、東海・南海・南海の3連続地震も想定し、津波や液状化対策を含めた抜本的な見直しを行うこと。

区民に漏れなく情報が伝わるようにすること。

③ エレベーター内防災グッズ、階段避難車、置き場を含めた防災物資の充実など高層住宅の特性に応じた支援を強めること。

ていく。

② 区のホームページや防災情報メールの利用、緊急地震速報装置から防災行政無線放送を聞けるシステムを検討している。災害時要援護者への対応として、関係機関と連携した情報提供の方法についても検討していく。

### 予想される大震災から区民を守る対策を

た情報提供の方法についても検討していく。

### 【答弁】

① 東日本大震災の教訓を踏まえた津波や液状化対策、高層住宅等の震災対策の推進、災害時要援護者への安全安心対策、帰宅困難者対策の推進、区職員の災害対応能力の充実強化など、都心港区の特性も考慮して積極的に検討を進め

③ 幼稚園、小学校、中学校、保育園、児童遊園、公園など子どもたちが集まる場所については、植栽、芝生、周辺の土壌の検査を実施すること。また、雨水

③ 防災住民組織を結成した高層住宅に対し、エレベーター内閉じ込め対応キットや、階段避難車などを支給している。引き続き、高層住宅の特性を踏まえた防災物資等の支援を行なっていく。

### 【質問】

放射能汚染による影響は長期に渡る。とりわけ懸念されるのは子どもたちへの健康被害。

① 各学校、保育園に食材の放射能測定検査機を設置すること。

### 放射能汚染から子どもを守る対策を

通常の維持管理の中で順次追加・

当面、検査機関に依頼し食材検査を行うこと。

② 3月11日以降、砂の入れ替えをしていない砂場については、早急に砂の入れ替えを行うこと。

ますや側溝の汚泥の検査を実施すること。

入替えを実施している。

③ 現在、子どもたちが利用する場所の砂場の砂の放射能測定を実施している。測定対象の拡大については、引き続き検討していく。

### 【答弁】

① 区（又は教育委員会）では、保育園（又は学校）で使用してい

る給食食材や牛乳の産地を確認し公表している。食料等の放射能の検査方法については検討していく。

裏面に続く

日本共産党港区議員団ニュース

2011年10月号外

港区芝公園1-5-25 電話(3578)2945~6

<http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp>

港区議団

検索

なんでも相談会 困った時はすぐ相談を！ お気軽にご連絡下さい。

## 高すぎる国民健康保険料の引き下げについて

### 【質問】

今年度から、国民健康保険料の算定方式が基礎控除33万円しか控除できない方式に変更になり、家族の多い方や障害者控除を受けていた方などの負担が大きくなった。高すぎる保険料に区民の悲鳴が上がっている。高すぎる保険料は新たな滞納世帯を増やすことになる。

区民のくらし、命を守るために①高すぎる国保料の引き下げを行うべき。

②保険料の軽減措置の拡充を図るべき。

③資格証の発行を止めるべき。

### 【答弁】

①区が独自に国民健康保険料を引き下げることは困難。

②軽減措置として一般減額・免除制度がある。減免の主旨を踏まえ適切に対応したい。

③5月末現在、409世帯に対して資格証を発行しており、過去1年間、発行世帯数は139世帯の減少となっている。

## 赤羽小学校の建て替えについて

### 【質問】

赤羽小学校はすでに建築から37年が経過しており、建て替えが急がれる。隣地の協力も得て、接道に必要な土地の購入を行い、早急に建築計画を具体化すべき。その際、向かい側に東京都が駐車場として使用していた土地（建設局行政財産）を赤羽小学校の用地として早急に購入交渉に入るべき。

### 【答弁】

教育委員会では、隣接地の用地取得等について関係者と協議を進めている。建築計画の具体化については、改築の条件が整い次第、検討していく。都有地に関する動向については情報収集に努めている。



## 給食食材と牛乳の放射能線量検査を実施する

### 決算委員会で答弁

福島原発で重大な事故が発生したにもかかわらず、東電も、政府も保安院も、事実を隠し続け、安全として市場に出た牛肉が放射能汚染されていたことや、高濃度でも、混ぜ合わせることで、暫定基準値を下回ったとして市場に回った牛乳などから、国民の不信は一気に広がりました。

放射線被曝は、少量であっても、将来、発ガンなどの健康被害が起きる可能性があります。

決算委員会では、区民、とりわけ子ども達の命と健康を守るために、「給食食材の検査機器を購入すること」、「検査機器を購入するまでの間、「検査機関に食材検査を依頼する」、「早急に粉ミルクと牛乳の検査をするよう」質問しました。

担当課長は、「給食食材と牛乳について、サンプリング検査を実施する」と答えました。

ご質問やご要望は  
お気軽にご連絡ください

## ☆ 代表質問・一般質問におけるその他の質問 ☆

- 介護保険制度について
- 特別養護老人ホームの増設について
- 保育園の待機児童解消について
- 公的保育制度を守るために
- 保育所の面積基準の緩和について
- 奨学金の返済免除、給付型奨学金制度の創設について
- 柔道の授業に専門家を配置することについて
- 東日本大震災を教訓に区民の命と財産を守るための対策について
  - ・災害時要援護者への支援対策の強化
  - ・地震発生時の子どもたちの安全確保
  - ・「津波避難ビル」協定の締結
  - ・高層住宅の特性に応じた支援
  - ・防災対策の助成の拡大
  - ・避難所について
- 原発からのすみやかな撤退を求めることについて
- 放射能汚染から子どもと区民のいのちと健康を守る対策について
  - ・放射能に関する区民向けの学習会について
  - ・貸し出し用の放射能測定器について
- 地域の資源エネルギーの活用について
- 台場地域に芝消防署の分室、出張所の設置について
- 生活保護制度の改悪に反対を